

網走水産試験場 場長の山本 和人です。4月の人事異動により、道南の函館水産試験場からきました。よろしくお願いいたします。

ここで、このたびの異動により着任した職員をご紹介します。  
 総務課は、主査として久保 貴裕が着任しました。

調査研究部では、部長に函館水産試験場から奥村 裕弥、研究主幹に稚内水産試験場から田中 伸幸、主査（栽培技術）に中央水産試験場から山崎 千登勢が着任し、中島 美由紀が当場の研究主幹から専門研究員になりました。

加工利用部では、部長に釧路水産試験場から宮崎亜希子が着任し、新規採用により研究職員として崎村 祥太郎が加わりました。

職員一同、気持ちを新たにして調査研究に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

場長 <u>山本 和人</u>	総務課長	川村 啓介	主査（総務） 主査 専門主任	古山 耕司 <u>久保 貴裕</u> 中村 元
	調査研究部長	<u>奥村 裕弥</u>	主任主査（資源管理） <u>主査（栽培技術）</u> 主査（資源増殖） 主査（水域環境） 研究職員 専門研究員	佐々木 潤 <u>山崎 千登勢</u> 秦 安史 眞野 修一 永田 淳 中島 美由紀
	研究主幹	<u>田中 伸幸</u>		
加工利用部長	<u>宮崎 亜希子</u>	主査（加工開発） 主査（利用技術） 研究職員 研究職員	笹岡 友季穂 佐藤 暁之 濱川 祐実 <u>崎村 祥太郎</u> （新採）	
* 下線は着任した職員				

一 網走水産試験場の沿革から

網走水産試験場は、昭和17年10月開設の「網走水産指導所」が始まりです。

職員録によると昭和18年1月の職員数は2名でした。

右の地図には、南4条東4丁目の仮庁舎の位置（現在の市役所の北側）が記載されています。

（網走水試 山本）

[網走市案内図（抜粋）]



[1948.6.23 網走新聞社編 網走市立図書館所蔵・HP掲載可]